

メールマガジンリニューアルのご挨拶

佐久間 裕章

メールマガジン読者の皆様こんにちは。

私はふるさとの会代表理事の佐久間裕章と申します。平素は当会のメールマガジンをお読みいただき誠に有難うございます。

早いもので、今年度も残すところ僅かとなってまいりました。

さて、ふるさとの会では新年度に向けてメールマガジンのリニューアルを予定いたしております。会の活動を毎月レポートさせていただき、従来のメールマガジンに加えて、年4回は内容を増やし、外部からの寄稿をいただきながらパワーアップさせたメールマガジンを発行させていただくこととなりました。

寄稿者及び編集者としてジャーナリストであり、ふるさとの会事例検討会「相談室ふらっと」の対人援助顧問である佐藤幹夫氏を迎えました。季刊で内容をパワーアップさせ、より多くの方々に会の活動を知っていただくことができれば幸いです。

佐藤幹夫氏のほかにも、レギュラーで以下の方々に執筆をお願いいたしております。

相場由木：すまい・まちづくり支援機構理事、保健師。相談室ふらっとでの事例検討の内容や対人援助についてをレポートしてゆきます。ふるさとの会の対人援助をまとめた「生きづらさ」を支える本（言視ボックス）を執筆。

水田恵：ふるさとの会創業者であり、現在はすまい・まちづくり支援機構理事長、更生保護法人同歩会理事長。NPO マネジメント論を佐藤顧問とともに話し合っゆきます。その内容はメールマガジンにて順次報告いたします。

佐久間裕章：ふるさとの会代表理事。法人を取り巻く社会情勢の変化、介護保険等の改正などがどのような影響を与えるのか、新しいニーズの発見と制度の動きについて報告してゆきます。

岡村毅 氏：東京都健康長寿医療センター研究所、東京大学医学部精神神経科。相談室ふらっとの参加メンバーであり、対人援助顧問のひとり。臨床医としてふるさとの会に関わりながら、感じたこと、見えてきたものを徒然なるままにエッセイレポートします。

石神：編集員として法人の活動やメールマガジンの制作を行っています

今後とも引き続きご愛読いただきますようよろしくお願いいたします